

## 平成 20 年度当初予算 施策別概要

### 131 文化にふれ親しむことができる環境づくり

( 主担当部 : 生活部 )

- 13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長 ( 生活部 )
- 13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用 ( 教育委員会 )
- 13103 埋蔵文化財の保存・継承・活用 ( 教育委員会 )
- 13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信 ( 生活部 )
- 13105 文化芸術活動支援のための体制整備 ( 生活部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県民が

( 意図 ) 多様な文化芸術にふれ親しみ、地域の歴史や文化を大切にしている

#### < 施策の数値目標 >

| 施策目標項目 ( 主指標 )                            |     | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H22 年度 |
|---|-----|--------|--------|--------|--------|
| 音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しめる機会が多いことに対する満足度 | 目標値 | -      | 18.2%  | 18.5%  | 19.0%  |
|   | 実績値 | 17.9%  |        |        |        |

一万人アンケートにおいて、音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しめる機会が多いことに対して、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した人の割合

| 施策目標項目 ( 副指標 )     |     | H18 年度       | H19 年度       | H20 年度       | H22 年度       |
|--------------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 三重県総合文化センター利用者数    | 目標値 | -            | 650,000 人以上  | 650,000 人以上  | 650,000 人以上  |
|                    | 実績値 | 666,002 人    |              |              |              |
| 「活かそう地域文化提案事業」参加者数 | 目標値 | -            | 12,430 人     | 13,530 人     | 15,000 人     |
|                    | 実績値 | 9,516 人      |              |              |              |
| 文化芸術情報アクセス件数       | 目標値 | -            | 17,300 件 / 月 | 17,800 件 / 月 | 18,800 件 / 月 |
|                    | 実績値 | 16,749 件 / 月 |              |              |              |

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 社会の成熟化に伴い、人びとの価値観は、生活の質や一人ひとりの生き方、暮らしの中のしあわせ感をより大切にし、癒しや心の充実感の追求、歴史・伝統、自然、文化芸術を重視する方向に変化してきています。このような社会の状況や変化に対応し、県民が芸術や文化にふれ親しむことで、感性を磨き生活の質を高めることができる環境づくりをさらに進めていく必要があります。
- ・ その環境づくりの一つとして、県民の文化芸術活動をサポートするための文化振興拠点の機

能充実が求められており、平成 19 年度においては、新博物館のあり方を含めた「三重の文化振興方針（仮称）」の検討を行っています。

- ・ 文化財や風習などを長年にわたって保存・継承してきた地域の力が弱体化する傾向にあることから、県民自らが文化財等を地域の誇りとして大切にしていくための支援や取組が急務となっています。

#### <平成 20年度の取組方向>

県民の皆さんが多様な文化芸術にふれ親しみ、また、自らが文化芸術活動の主体となれる環境づくりを推進するため、引き続き、文化芸術活動への支援、顕彰制度の運用、文化芸術の発表の場づくりなど実施します。

国・県指定等文化財の保存、修理、活用を、市町、保存団体および所有者等と協働して行うとともに文化財を活用した地域の自主的な活動を支援します。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、次世代に継承されるよう、和歌山県、奈良県および関係市町等と協働して保存と活用に努めます。

サイトミュージアム（史跡博物館）である国史跡斎宮跡について、史跡東部地区を中心に発掘調査や公有地化等の整備を進め、史跡として保存と活用を進めます。

文化芸術にかかる人材や地域資源等の情報の収集、整理、集積、活用に向けた取組を進めるとともに、文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流をはかり、三重の文化を広く情報発信していきます。

三重県総合文化センターを県における文化芸術の拠点施設として、質の高い文化芸術公演の実施、文化に関する人材育成、多様な文化芸術の主体とのネットワークの構築、アウトリーチ活動による県民の文化芸術活動の支援などの取組を進めます。また、平成 19 年度に検討している文化振興拠点等の機能の充実や拠点間の連携のあり方を踏まえ、新博物館の整備について検討を進めます。

#### <主な事業>

文化にふれる機会提供事業【基本事業名：13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長】

予算額： 16,260千円 16,245千円

事業概要：地域文化の振興をはかるため、「県民文化祭」「県展」「みえ音楽コンクール」を県民総ぐるみの文化の祭典「みえ文化芸術祭」として一体的に開催します。

活かそう地域文化提案事業【基本事業名：13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

予算額： 55,140千円 70,062千円

事業概要：指定文化財等を修復のうえ公開・活用する取組に対して支援することにより、多様な主体が連携して文化財を保護・活用する体制の充実を図り、文化財保護の基盤を整備します。

世界遺産熊野古道保存管理事業

【基本事業名：13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

予算額： 2,285千円 2,828千円

事業概要：世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が適正に保存管理されていくよう、関係機関と連携して取り組むとともに、県民が地域の誇りとするための情報発信や学習機会の提供を市町教育委員会と協働して行います。また、地域の文化財について学術的な調査を実施し、世界遺産保護の基礎資料として整備します。

こころのふるさと齋宮づくり事業【基本事業名：13103 埋蔵文化財の保存・継承・活用】

予算額： 42,597千円 45,600千円

事業概要：伊勢神宮の式年遷宮までの完成を目指した史跡東部の整備に向け、基礎的なデータを  
得るための発掘調査を行います。

(舞)みえの文化蔵(「人・モノ」集積・発信・活用)事業

【基本事業名：13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信】

予算額： 8,093千円 8,388千円

事業概要：文化芸術に関する人材・団体等の情報及び地域の貴重な歴史的・文化的資産の情報等を収集、集積し、データベース化をはかります。また、文化施設や学校等と連携し、子どもたちがさまざまな文化芸術を体験できる「連携体験プログラム」を開発します。

新県立博物館整備検討事業【基本事業名：13105 文化芸術活動支援のための体制整備】

予算額： 4,805千円 72,152千円

事業概要：博物館に対する県民の理解を得るため、シンポジウムや意見交換会などを行うとともに、平成19年度にまとめる「新博物館のあり方について」で示す考え方を具体化するための基本計画を検討します。